

令和6年度 郡市医師会生涯教育担当理事協議会

と き 令和7年3月6日(木) 15:30～16:05

ところ 山口県医師会6階 会議室

[報告: 常任理事 茶川 治樹]

開会挨拶

加藤会長 本日は生涯教育担当理事の先生方にお集まりいただき、感謝申し上げます。各地域で開催していただいている講演会などでは、山口県の医療のレベルを上げていくために皆様に大変貢献いただいていると思っています。

県医師会では、医学研究助成事業を2年前から始めている。1件あたり100万円を助成するもので、卒後20年未満で、日本医師会の会員である期間が1年以上あれば、申請資格があるので、県内のどの医療機関の方でも応募ができる。この研究成果は山口県医学会総会での発表と医学会誌への概要論文掲載を行ってもらおうとしている。

生涯研修セミナーはわが国のトップクラスの講師の方々もお呼びして、開催している。そういった意味でも、より多くの方にご参加いただきたいと思っていますので、会員への周知にご協力をお願いしたい。

協議事項

1 日本医師会生涯教育制度について

日本医師会の集計で、2023年度の日本医師会生涯教育単位取得者は全国で112,870人、前年度比+5,430人となった。平均取得単位は10.0単位、平均取得カリキュラムコード数は6.8コード、単位とカリキュラムコードの合計の平均は16.8であった。一方、2023年度の山口県での日本医師会生涯教育単位取得者は1,492人で、平均取得単位は8.7単位、平均取得カリキュラムコード数は6.0コード、単位とカリキュラムコードの合計の平均は14.7となった。

日本医師会生涯教育制度では、3年間で取得した単位数とカリキュラムコード数の合計が60以上の方に、日本医師会生涯教育認定証が交付される。全国では5,022人に認定証が交付され、山

口県では54人に交付された。

令和7年度より、日本医師会生涯教育制度の単位は、「全国医師会研修管理システム」での管理から「医師会会員情報システム」(MAMIS)での管理となる。これにより、先生方は取得単位数の確認などがMAMIS上で行える。

2 令和7年度山口県医師会生涯教育事業計画について

(1) 生涯研修セミナー

生涯研修セミナーでは臨床のみならず、基礎系の研究分野や最新医学のトピックスなど幅広いテーマを取り上げて年4回、ハイブリッド形式で開催している。令和7年度も令和6年度と同様に、専門医の認定更新に必要な共通講習の単位を取得できるようにする。

なお、他県ではこのように県医師会単独主催でセミナーを開催している医師会は少ないようである。また、ハイブリッド形式で開催するので、Webでも参加が可能である。多くの参加をお願いする。

(2) 山口県医学会総会

山口県医学会総会について、令和7年度の引受である山口市医師会より下記のとおり説明いただいた。

6月8日に山口県総合保健会館で開催する。特別講演として、「AI・数理工学をいかに医学にとりこむか?」と題して、医療法人錦秀会阪和病院・阪和記念病院統括院長・総長の北風政史先生に講演いただき、その後、「震災とJR列車脱線事故における救急災害医療: 経験に基づく提言」と題して、神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野教授の小谷穰治先生に講演いただく。午後からは、市民公開講座として、彩バ

レエスタジオによるバレエを披露していただいた後、「哲学で考える生老病死」と題して、哲学者で山口大学国際総合科学部教授の小川仁志先生に講演いただく。

なお、令和8年度は山陽小野田医師会、令和9年度は萩市医師会が引き受けて開催を予定している。

(3) 中高生の職業体験事業

白澤理事より、下記のとおり説明が行われた。

令和6年度は8月4日に山口県医師会で開催した。県内の中高校生から多くの参加希望があり、体験ブースを増やして対応することと、最終的に48名が参加した。令和7年度も同様に8月上旬に山口市での開催で準備を進めてる。

(4) 体験学習

体験学習は昭和60年から山口大学医師会、山口大学医学部にお願いし、山口大学の2教室にお引き受けいただき開催している。引受教室の講演や、普段、大学で使用されている医療機器を用いた実技研修が体験できる。令和6年度と同様に令和7年度も開催する予定であるが、ここ数年、参加者が少ないので、開催方法や周知方法などを検討したいと思っている。実際に参加すると大変勉強になるので、ぜひ参加していただきたい。

(5) 山口県医学会誌

山口県医学会誌は昨年度までは生涯研修セミナーでの講演スライドを掲載していたが、令和6年度発行分から、県医師会報に掲載している講演の印象記を掲載することとした。また、郡市医師

会で開催された学術講演会の内容についても、可能な限り講演の概要も掲載することとした。先生方におかれましては、原稿の提出に対応いただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

(6) 山口県医師会医学研究助成事業

本事業は令和5年度より開始しており、会員の医学・医療に関する研究を支援することにより、医学・医療の発展と医師の県内定着促進を目的としている。対象は卒後20年未満の県医師会会員で、かつ、日本医師会会員であることと、日本医師会歴1年以上としている。令和6年度は2名の方に助成を行っており、令和7年度の山口県医学会総会での研究発表と、山口県医学会誌へ概要論文を掲載していただくことになっている。

令和7年度分については、1名の方に助成を行う。また、令和8年度分の募集を令和8年1月に開催する予定なので、その際は周知等への協力をお願いする。

3 その他

郡市医師会から、研修会をメーカーのサポートを受けると、利益相反開示や事前スライドチェックなどで講師に負担がかかるため、単独主催の研修会を開催することとしたが、他の郡市医師会で単独主催で開催しているか教えてほしいという質問があった。

郡市医師会内の部会が単独主催で講演会を実施しているという旨の報告や、通常はメーカーが行うが、メーカーのサポートが得られない場合は、近隣の病院の先生に講師をお願いし対応しているという内容の報告があった。

出席者

郡市担当理事

大島郡 松本 直晃
熊毛郡 本田 圭子
吉南 目 昭仁
美祢郡 竹尾 善文
下関市 大谷 望
宇部市 鈴木 克佳
山口市 田村 高志
萩市 宮内 嘉明

防府 角川 浩之(代理)
下松 野見山敬太
岩国市 横峰 和典
山陽小野田 関 耕三郎
光市 谷川 幸治
柳井 濱田 敬史
長門市 須田 博喜
美祢市 清水 良一

県医師会

会長 加藤 智栄
常任理事 茶川 治樹
理事 白澤 文吾
理事 國近 尚美
理事 藤井 郁英
理事 森 健治